

# 国道372号線のバイパス整備早期実現について 一般質問



三宅 利弘 議員  
(21政会)

**問** 国道372号は加西市内を通過する重要な幹線道路である。関係6市の中では、加西市の整備が一番遅れている状況を踏まえ、早期にバイパスを含めた道路整備の必要があると思われる。

①国、県への要望活動は、これまで、どのように行われたのか。

**答** 昭和50年7月1日に国道372号線促進期成同盟会が設立され、現在、姫路市、加西市、加東市、篠山市、南丹市、亀岡市の6市をもって、早期実現に向け毎年活動を続けています。また下里地区区

長会、九会地区区長会が発起人となられ、国道372号線早期事業化促進会議が発足され、平成21年9月には8,205名の署名を集め、議会へ要望そして各関係機関へ要望がなされています。

**問** ②兵庫県北播磨県民局県道整備部が、平成20年度から30年度までの10年間で計画している北播磨社会基盤整備プログラムは、25年度が最終見直しの段階である。その計画に取り入れてもらえるのか、その可能性について。

**答** 加西市では、加西市南部地域（鶉野周辺地域）を土地利用促進地区と位置づけている。観光、交流資源の開発等を促進するための新たな道路整備が不可欠であるこの道路が、国道372号線のバイパス機能も果たしますので、今後整備計画策定に当たり事業手法など

について、北播磨地域づくり懇話会の場において市長から県知事に特段の支援をお願いいたしております。

県知事からの回答では、「372号については、繁昌交差点などを少し改良させてもらったが、基本的な問題があるようですから、土地利用促進地区との関連で、道路整備も進めながら地域づくりも進めていこうという構想自身は、私どもも大賛成です。まちづくり交付金の確保については、全力であたらせていただきたいと思います。」との回答を得ております。今後さらにしっかりとプログラムに位置づけて頂けるよう、頑張っていきたいと思っています。

## ■その他の質問項目

- ・加西の農業振興について

# 健康長寿日本一を目指して 一般質問



土本 昌幸 議員  
(公明党)

**問** 健康長寿日本一を目指して、目標は大きいほど良い。しかし、達成するためには現状を把握して、一つ一つの改善が必要であり、他市の取り組みなども参考にしながら、当市に合った方法を考え出す必要がある。

まず、がん対策の充実について、がん検診の受診率向上を目指して平成24年度から取り組んでいる、41歳節目年齢がん検診事業などの評価についてお聞きしたい。

**答** 国のがん検診推進事業の大腸がん、乳がん、子宮がんの節目年齢検診に加えて、平成24年度から市独自の取り組みとして、41歳の市民を対象に胃がん、肺がん検診の無料クーポン券の配布を実施しています。その結果、平成24年度の41歳における受診者数は、前年度と比較しますと、胃がん検診は22人から81人に、肺がん検診は36人から109人に、大幅に増加し一定の効果が上がっています。

**問** 健康マイレージ事業を始める自治体が増加している。事業内容は、検診の受診、スポーツ活動に参加するなどポイントが貯めると、市が指定する公共施設が利用でき、また幼稚園や小・中学校

にポイントを寄附することも可能となっており、研究に値すると考えるが、見解をお聞きしたい。

**答** 健康マイレージは、市民が健康に関心を持ち、健康づくりに取り組むきっかけになるなど、健康づくりの普及啓発や推進につながる有効な取り組みの一つだと思います。この制度を利用運用するためには、関係機関、団体との連携や体制づくり、仕組みづくりが必要となってきます。先進地の事例を研究しながら検討していきたいと考えています。

## ■その他の質問項目

- ・永田教育長の対応について